

# 「 数学 A 」 シラバス

学科	商業科	学年	3年	類型		組	5組	単位数	2
使用教科書	新編 数学 A (数研出版)								
副教材等	数学就職問題集 (愛媛県高等学校教育研究会) 新課程 教科書傍用 基本とテーマ 数学 I + A (数研出版) チャート式 新課程 基礎と演習 数学 I + A (数研出版)								

## 1 学習の到達目標

- ① 図形の性質及び数学と人間の活動について理解する。
- ② 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理することができる。
- ③ ①～②の内容を学ぶことで、具体的な事象において数学的な表現や処理する能力を高め、数学的な見方や考え方のよさを認識する。

## 2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、観点別評価と 100 点法の評価をする。学年末において、観点別評価を 5 段階の評定に総括する。

知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けているか。事象を数学的に解釈し、数学的な表現や推論の方法などの技能を身に付けているか。	(3)(4)(5)(6)(7)
思考・判断・表現	事象を論理的に考察・表現し、思考の過程を振り返り統合的・発展的に考えることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けているか。	(3)(4)(5)(6)(7)
主体的に学習に取り組む態度	数学の論理や体系に関心を持ち、数学のよさを認識し、事象の考察にそれらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとしているか。	(1)(2)(3)(4)(8)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1)授業に対する取組の姿勢 (2)教師の発問に対する応答	
課題やレポート提出	(3)毎授業後や定期考査前の課題プリント (4)長期休業中の課題	
ペーパーテスト	(5)定期考査 (6)校内模試 (7)小テスト	
ノート提出	(8)定期考査ごとに提出	

### 3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	第2章 図形の性質 第1節 平面図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三角形の内角の二等分線と比を理解する。</li> <li>・ 三角形の外心、内心、重心を定義し、これらの性質を理解する。</li> <li>・ 円に内接する四角形の性質や、四角形が円に内接する条件を理解する。</li> <li>・ 接弦定理・方べきの定理について理解する。</li> <li>・ 2つの円の位置関係、共通接線について理解する。</li> </ul>	(3)(7)(8)
	第2節 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空間における直線や平面の位置関係やなす角について理解する。</li> <li>・ 多面体などに関する基本的な性質について理解する。</li> </ul>	(3)(7)(8)
	就職問題集 第1章 比と歩合 第2章 数と式の計算 第3章 1次方程式と1次関数 第4章 2次方程式と2次関数 第5章 不等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各分野の基本問題に触れ、数学のよさを実感するとともに数学への興味・関心を深める。また、就職試験に対応できる学力を身に付ける。</li> </ul>	(3)(7)(8)
二 学 期	第6章 三角比 第9章 場合の数と確率 第10章 図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各分野の基本問題に触れ、数学のよさを実感するとともに数学への興味・関心を深める。また、就職試験に対応できる学力を身に付ける。</li> </ul>	(3)(7)(8)
	第3章 数学と人間の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約数、倍数、最大公約数、最小公倍数の整数の基本概念を理解する。</li> <li>・ ユークリッドの互除法の原理を理解し、1次不定方程式の整数解を求める方法を理解する。</li> <li>・ 位取り記数法を理解し、10進数とn進数との変換ができるようになる。</li> </ul>	(3)(7)(8)
三 学 期	総合演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学入試等で出題された問題を用いて、具体的な事象において数学的な表現や処理する能力を高める。</li> </ul>	(3)(7)(8)